

第141回:一緒に寝た仲

1949年10月1日、毛沢東中国共産党中央委員会主席は天安門の楼上によじ登り、中華人民共和国の建国を宣言した。実はこのとき、国民党と共産党の内戦は未だ続いていた。蒋介石率いる国民党は、中華民国の首都南京を、鄧小平が指揮する人民解放軍(第二野戦軍)に奪われ、広東省の広州に拠点を遷していた。10月14日、その広州が陥落するや、国民党は政府を重慶に戻し、翌11月に重慶が攻略されると、今度は成都に転進するといった逐電と出奔を繰り返す、そうこうするうちに蔣中正にも焼きが回り、遂に彼は12月7日に台湾海峡を渡る。内戦の行方を観察してきた毛沢東は、いまや天下の秋は定まったと判断し、ライバルの渡海に先立つ10月に先づもて建国を宣言したのである。

共産党史によると、中華人民共和国が誕生し、人民は汚職や賄賂で腐敗まみれだった国民党の圧制から解放された。苛政猛於虎也というとおり、国民党が中国を支配していたころ、五億の民草は苛酷な徴税に懊悩呻吟してきた。共産党政権が生まれて重税は廃止されたが、新中国には更に始末の悪い災禍が重畳するようになった。延々と果てしなく続く死ぬほど退屈な共産党の会議が、だからこんなジョークが生まれる。誰の創作か不詳だが、主役は毛沢東の真似をして馬脚か豚脚を現わした重慶市党書記の薄熙来だ。

重慶市の共産党大会が無事閉幕した。大任を果たした薄熙来党書記が壇上を降りたとき、ひとりの女性代表が駆け寄って彼に向かって叫んだ。

「薄熙来同志、私を覚えていますか？」

「えーっと・・・对不起(トイプチャー)・・・どなたでしたか？」

「あんた、なに言ってるの。私たち一緒に寝た仲じゃない！」

顔面蒼白の薄熙来、大慌てで彼女の発言を遮った。

「アワッ！ 頼むから落ち着いて。欲しいものがあれば何でも買ってあげるから、言って、言って」

「それじゃ、液晶テレビを買ってちょうだい、TCLやハイアールじゃなく、パナソニックの液晶テレビを！」

書記はやむなく秘書に命じて、テレビを買いに行かせた。

翌年の党会議にも彼女は参加し、同じやりとりが繰り返され、彼女はトヨタのセダンをゲットした。

3年目の党大会で、薄書記は遂にブチ切れた。

「いつまでオレをゆるする気だ。テレビに、車に、今年はマンションが欲しいって？ そもそも、いったいぜんたい、オレがどこで君と寝たと言うのかね！」

「薄熙来同志、ホントに覚えてないの？ 毎年毎年の党大会、あなたは壇上で、私は代議員席で一緒に寝た仲じゃないの」

世界中どこの国でも会議による意思決定システムは存在するが、ものの順序として先ずは下級レベルで文書、即ち稟議形式の起案がなされ、その稟議書は審査部署が作成した評価書と共に中級レベルを通過し、最終の上層部で会議による意思統一が図られるのがふつうである。ところが中国共産党に稟議システムが

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

ないわけではないが、この国の人たちは何でもかんでも会議で決めたいようだ。だから中国では弁論技術を磨かなければ出世できない。逆に云えば、どこかの国の前首相のように、威張り散らすだけの凡庸な輩でも、弁さえ立てば管理職くらいにはなれる。中国共産党の幹部党员は毎日会議室で常住坐臥の日々を送っており、これで効率の良い経済運営ができる訳がないと思う。佐々淳行氏によると、責任回避に汲々する官僚を指して、後藤田正晴氏は「会議好きにロクな奴はおらん」とのたまわれたそうだが、全然同感だ。

事実、中国経済の効率は決して良くはない。中国が改革開放の30年間に平均10%の高度成長を達成できたのは、優遇策による外資導入と安価な労働力の優位性を生かした労働集約産業モデルが、鄧小平の号令一下、一気にスタンピードし始めた結果に過ぎない。成長を生み出す凄まじいエネルギーは国民に帰せられるべきであって、その成功は党政府が効率的な経済運営を行ったお陰ではない。今後中国はこれまで経済を牽引してきた労働集約型産業と資源集約型産業を、徐々に資本集約型かつ知識集約型産業に転換させたい考えだが、その難易度は極めて高い。そもそも国家資本主義体制の国々は経済成長のある段階までは成功を収めるが、高度成長を支えてきた「安価なモノ」が不足し始めると経済も衰退する傾向にある。アルゼンチンは安価な土地、ベネズエラは安価な石油があったときは好調であったが、それが枯渇し始めると経済は忽ち変調を来した。打開策は構造転換によるブレークスルーしかない。

中国には楽観主義者が多く、数億人の人々が「わが国は既に経済大国の仲間入りをした。従って中国は前途洋々である」と確信しているようだが、これまでの成長モデルが大成功を収めたからといって、次世代の成長モデルも成功する保証はどこにもない。もちろん中国の将来の可能性を否定するつもりはないが、歴史上これほど巨大な発展途上国が成功した事例はまだ存在しない。

責任回避の会議の例ではないが、中国にとって今後の発展のカギは経済の無駄をなくすことに尽きる。そのためには環境汚染、交通事故、製品事故、腐敗汚職というGDPの負のコストを削減する必要があり、温家宝首相が主張する政治改革は避けて通れない途である。消費者をエンパワーすることによる専制政治の権力低下を恐れては何もできない。同時に新たな成長モデルを確立するためには、先進国の経験と技術を学ぶ必要があり、教を請うからにはそれなりの謙虚な姿勢と、友好を前提とした安全保障態勢で隣国と接する事が肝要だ。それがイヤで、唯我独尊のヘゲモニー国家を目指すのであれば、毛沢東の自力更生でも、金日成の主体思想でも良いから自分一人でやることだ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年10月30日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。